

# 「京都 日本画新展 2020」の概要

## 1 事業の趣旨

京都における日本画は、「京都画壇」として多くの人材を輩出し、今日に至っています。また、日本画の世界を通じて育った人材は、京都に伝来する美術、工芸、産業振興に広く深くかかわり、その基礎的部分を形成しています。

「京都 日本画新展」、そして「続(しよく)『京都 日本画新展』」を通して、日本画を志す若手作家たちが、生き生きと日本画を描くことを応援し、その活躍の場のひとつを提供してまいりました。

2018年度から、京都府、京都市、京都商工会議所が共催となり、「京都全体で本展に取り組む」ことをめざしています。そして推薦委員には現在、芸術大学で教鞭をとられている方々を起用し、より幅広い、多様な出品者が期待され、また新しい審査委員のもと、多角的な視野から作品審査を行っています。

伝統と文化、そして大学の街・京都の特性を最大限に生かし、引き続き、日本画を志す若手作家とともに、京都ならではの日本画展をめざします。

## 2 主催者等

- 主 催 西日本旅客鉄道株式会社、京都新聞
- 共 催 京都府、京都市、京都商工会議所
- 協 力 文化庁 地域文化創生本部
- 後 援 京都府教育委員会、京都市教育委員会、KBS京都、エフエム京都

## 3 運営体制

### (1) 推薦委員 (50音順、敬称略)

- |        |              |
|--------|--------------|
| 石股 昭   | (奈良芸術短期大学教授) |
| 雲丹亀 利彦 | (京都精華大学教授)   |
| 大沼 憲昭  | (嵯峨美術大学教授)   |
| 川嶋 涉   | (京都市立芸術大学教授) |
| 菅原 健彦  | (京都造形芸術大学教授) |
| 西久松 吉雄 | (成安造形大学名誉教授) |
| 村居 正之  | (大阪芸術大学教授)   |

※出品作家の推薦は2019年3月下旬に行ないました。

(2) 審査委員 (50 音順、敬称略)

太田垣 實	(美術評論家)
國賀 由美子	(大谷大学文学部教授)
野地 耕一郎	(泉屋博古館分館長)
畑 智子	(京都文化博物館学芸課長)
森口 邦彦	(友禅作家、重要無形文化財保持者)
山田 諭	(京都市美術館学芸課長)

## 4 企画概要

(1) 参加概要

○原則として、京都を中心に活動している、あるいは京都にかかわりの深い概ね 23 歳から 45 歳の日本画家を対象に、推薦委員が出品依頼候補者を選出し、本人の参加意思を確認の上で出品を要請、今回は 40 名が出品。

<参考> 出品作品数

「京都 日本画新展」

第 1 回 37 名、第 2 回 38 名、第 3 回 37 名、第 4 回 37 名、第 5 回 38 名

続「京都 日本画新展」

第 1 回 39 名、第 2 回 38 名、第 3 回 38 名、第 4 回 38 名、第 5 回 39 名

「京都 日本画新展」

2019 40 名

○出品依頼候補者の選出に当たっては、京滋の美術系大学を中心として、日本画の継承に尽力する現場教員などと情報交換の機会を得て、推薦対象を積極的に拡大。

○大賞 1 点 (表彰楯と賞金 50 万円)、優秀賞 1～2 点程度 (表彰楯と賞金 20 万)、奨励賞・京都府知事賞、奨励賞・京都市長賞、奨励賞・京都商会議所会頭賞 (いずれも表彰状) を選出。※出品者全員に奨励金として 5 万円支給。

(2) 作品の条件

- ・額装、軸装のいずれかとする (屏風装、分割画面は不可)
- ・額装の場合、額縁幅は片側 70 mm 以内、軸装は壁面に掛けられるものとする
- ・作品の大きさは、80 号 M (1455 mm× 894 mm) 以上から 100 号 S (1620 mm×1620 mm) 程度、厚みは 100 mm 以内 (額装を含む)

(3) 作品の発表

①美術館「えき」KYOTOでの作品展

【実施期間】2020年1月24日(金)～2月3日(月) 計11日間

JR京都駅ビル内の美術館「えき」KYOTOで作品展を開催。

※作品展には推薦委員にもご出品いただきます。

②ホテルグランヴィア京都での作品展

【実施期間】2020年2月5日(水)～4月12日(日)

※一定期間での展示替えを実施(推薦委員の作品は除く)

③JR西日本発行物、京都新聞紙面で作品紹介